

事業概要【レガシーを活用した関係人口創出プロジェクト】

申請者	愛媛県、松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	231,291千円 (119,169千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	スポーツ習慣の定着、文化等を通じた生きがいの発見等により地域への愛着を強めることで、定住を促進するとともに、スポーツ大会の開催や四国遍路の魅力発信の取組を通じて、愛媛ファンを獲得し、関係人口を増加させ、地域を活性化させる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 大規模スポーツイベントのノウハウ、文化財、四国遍路といったレガシーを活用し、地元定着を図るとともに、関係人口の創出に取り組む。 【ソフト事業経費】 ○レガシーを活用したスポーツの継承 ■スポーツ大会を通じた交流人口拡大に伴う愛媛ファンの獲得・拡大 ・日本スポーツマスターズ2025愛媛大会の開催事業58,403千円 (負担金) ■「する」「みる」「応援する」「支援する」といった多様なスポーツ習慣の定着 ・参加交流促進イベント、機運醸成イベント開催事業12,902千円 (負担金) ■競技団体等におけるスポーツイベント開催機運の醸成、開催基盤の形成 ・ノウハウ蓄積を目的とした競技団体等への補助16,200千円 (負担金) ○文化財の保存・活用の推進 ■文化財等を残す (散逸・消滅対策) ・文化財の3次元測量調査・3Dデータ化12,274千円 (委託料、事務経費) ・祭り継承研修会の開催794千円 (講師謝金旅費、事務経費 等) ■文化財等を伝える (普及啓発) ・新設するホームページや博物館での3D測量データの公開6,238千円(委託料 等) ○博物館との連携による四国遍路の魅力発信 ■歴博と札所との周遊促進 ・PR動画の作成550千円 (委託料) ・デジタルマーケティング1,760千円 (委託料) ■魅力発信 ・展示解説の多言語化770千円 (委託料)					大下田古墳 (1号古墳)  大下田古墳 (1号古墳石室内) 	
	スポーツ関係団体、市町、地域おこし協力隊等と連携した事業の推進、地域の魅力発信に取り組む。 県と市の自己評価・効果検証を基に、関係団体、大学等 (有識者・民間シンクタンク) による改善提案を事業内容に反映させる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (県への移住者数) (+2,176人) ②県外への転出者数 (日本人) (-2,005人) ③スポーツ大会、イベント等による参加者数 (+6,175人) ④地域の伝統的な芸能や祭りへの参加率 (+1.5%) ⑤歴博 (内海清美展) の観覧者数 (+17,400人)